

岐阜市議会 だより

岐阜市議会常任委員会行政視察報告

市議会では、市政の発展に向けた施策などの提案等を行うため、先進的な事例や取り組みを行っている都市に向けて直接調査・研究する「行政視察を委員会」に実施しています。

今年度は10月に総務、経済環境、厚生、建設、文教の5つの常任委員会が行政視察を実施しましたので、その概要をお知らせします。 **問 議事調査課へ214 6 2 3 7**

総務委員会

① 徳島県徳島市(10月13日) Ⅱ SDGs 未来都市計画について

国からSDGs 未来都市に選定されている徳島市では、本市の長良川を生かしたまちづくりと同じく中心市街地を流れる河川を生かしたまちづくりに官民連携で取り組まれています。また、女性起業家育成支援など女性活躍の推進や子どもの声を大切にする未来志向のSDGs 推進などに取り組み、事業の検討に当たっては民間企業からの提案を積極的に受け入れていました。

② 大阪府堺市(10月14日) Ⅱ 総合防災センターについて

堺市では、南海トラフ巨大地震などに備え、市民の体験型防災学習や消防職員などの訓練、災害備蓄品保管、大規模災害発生時の



▲堺市視察

経済環境委員会

① 神奈川県小田原市(10月18日) Ⅱ 脱炭素社会への取り組みについて 交通モデル事業について

小田原市では、民間事業者と連携して、EVに特化したカーシェアリングを行うとともに、EVを「動く蓄電池」と捉え、地域においてエネルギーを無駄なく利用する地域エネルギーマネジメントを実施し、脱炭素型の地域交通モデル構築を推進していました。脱炭素社会実現への取り組みとして大変参考になりました。



▲小田原市視察

② 神奈川県川崎市(10月19日) Ⅱ エネルギー循環型ごみ収集システムについて

川崎市では、廃棄物発電を活用したEVごみ収集車を日本で初めて導入しており、ごみ収集における脱炭素化を目指す取り組みが行われていました。再生可能エネルギー利用の先進事例として、また、災害時の非常用電源になるという特長もあり、災害対応の一つとしても大変参考になりました。

③ 石川県金沢市(10月20日) Ⅱ 商業振興施策について

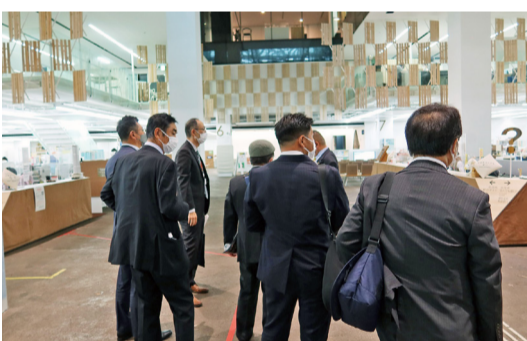
金沢市では、ICTなどに詳しい人材を登録、派遣し、市内商業者のデジタル化を推進する事業に取り組み、ネット販売と実店舗販売を融合させ、SNSやスマホアプリなどを活用しイベント情報の発信を行うなど、商店街の競争力強化に向けた施策が行われていました。新型コロナウイルス感染症の影響で売上減少、集客イベントの中止が続く中、ニューノーマルへの取り組みとして大いに参考になりました。

厚生委員会

① 新潟県長岡市(10月5日) Ⅱ 総合窓口について/多世代健康まちづくり事業について

長岡市では、平成24年に複合施設「アオーレ長岡」に日本一のサービスを目指した総合窓口を開設されました。土日祝日も開庁している点に特徴があるほか、目的別で分かりやすい窓口、オーダーシートを活用した受付対応、「おもてなしの心」醸成などに取り組ま

ており、市民へのきめ細やかな対応は、大いに参考になりました。また、産官学連携を契機に、健康づくりの拠点である「タニタカフェ」を整備され、多世代健康まちづくり事業として「ながおかタニタ健康くらぶ」の健康ポイント制度を実施されており、市民に健康づくりへのインセンティブ付与を図る取り組みは、本市にも参考になりました。



▲長岡市視察

② 群馬県高崎市(10月6日) Ⅱ 高崎市障害者支援SOSセンター ばる〜んについて

高崎市では、障がいに関する悩みごとにワンストップで対応する総合相談窓口「ばる〜ん」を平成30年に開設されました。施設には有資格の相談員や手話通訳者が常駐し、関係機関などの連携を図りながらさまざまな相談に対応されており、高崎市の特色ある取り組みとして大いに参考になりました。

建設委員会

① 福岡県久留米市(10月20日) Ⅱ くろめシンボルロード整備基本構想について

久留米市では、JR久留米駅から西鉄久留米駅までの通りを「くろめシンボルロード」とし、来街者が楽しみながら安全・快適に回遊できるよう、自転車走行空間の整備やバリアフリー整備

などを実施しています。令和3年12月にはくろめシンボルロード近くの久留米ほとめき通り商店街において歩行者利便増進道路を指定しており、ハード面における整備のほか、地域と連携して魅力ある通りの形成に取り組む様子が印象的でした。



▲久留米市視察

② 岡山県岡山市(10月21日) Ⅱ 県庁 通りに係る道路空間の再整備および 利活用について/石山公園など におけるにぎわい創出事業について

岡山市は、市の賑わいの核である岡山駅周辺エリアと旧城下町エリアをつなぐ県庁通りを人優先の道路空間へ再構築するため、歩道拡幅などあわせ、車道の一車線化を行いました。事業推進にあたっては、地域住民などと連携して公開会議などを行っており、まちづくりの担い手を発掘しながら整備を進める取り組みは大いに参考になりました。また、石山公園をはじめとする市内各公園においては、賑わい創出のため、オープンカフェ社会実験や芝生化などの多様な施策を実施しており、各公園の特性を生かした活用方法を検討する重要性を感じました。

文教委員会

① 広島県福山市(10月26日) Ⅱ 福山市立大学の公立大学法人化 について

福山市立大学は、2021年4月に公立大学法人へ移行されました。法人化により、ある程度法人の中で自由に決められることが増える一方で、法令に基づく手続きとして、市は法人に対して中期目標を提示し、法人はそれに基づいて大学運営を行い、評価委員会の評価を受けた結果を議会へ報告されており、広く市民、議会に対して情報が示されることで透明性が確保されています。福山市立大学における法人化前後の状況は、大変参考になりました。

② 高知県高知市(10月27日) Ⅱ 義務教育学校について

高知市では、少子高齢化による集落存続の危機に直面した土佐山地域を持続可能な地域として存続させるべく、平成23年に「土佐山百年構想」を提案し地方創生に取り組んできました。その一つの柱、社会学・小中一貫教育プロジェクトの一環として義務教育学校土佐山学舎が整備され、地域活性化の一翼を担ってききました。

日本全国で学校の小規模化が進む中、移住・定住をしても入学を希望される方がみえる土佐山学舎の特色ある取り組みは、大いに参考となりました。



▲高知市視察